

医学部ジェンダー学講義・性差医学入門講義 学生の感想（抜粋）

- ・これからの医師に求められる素質や考え方について考えるいい機会になりました。
- ・過酷な労働環境の下でもなお質の高い医療を提供しようと務めてきたこれまでの医師たちは素晴らしいと感じた。医師は社会的責任を伴う職業であるので、より良い医師になれるよう励みたい。
- ・育児支援や出産後の復職支援、様々な情報の提供などによって、性別関係無く全ての医師が働きやすく質の高い医療を提供できるような環境になってほしいと願う。
- ・女性もプロの自覚を持ち働き続けるという意識をもたなければならない。



- ・男女の体の構造が違うというだけで、こんなにもかかる病苦の差があると知り驚きました。
- ・人は、いる場所によって病気やワクチンの理解度や意識が変わってくると思うので、自分が学校で学んだことをいろんな人に繋げ、広げていきたい
- ・今のうちにある程度の目標とやりたいことを頭の中に置きながら勉強するべきという考えを聞き自分の目標を常に探しながら勉強をしていこうと思いました。

- ・医療の分野において、病気のかかりやすさなどに男女差があるのは明らかであり、性差に注目する医療は必要なものだと思う。
- ・性差だけでなく、患者さん一人一人に合う治療の提供をすることが医療人の使命なのだと感じました。
- ・一つの診療科だけではなく、チーム医療が必要であり、多診療科間の連携が大切であると思った。
- ・患者に親身に寄り添い、見守るという立場を徹底する。
- ・患者さんの悩みを共有して、ともに解決していきたい。



九州大学病院 臨床教育研修センター
 きらめきプロジェクト
 〒812-8582 福岡市東区馬出3丁目1-1
 TEL・FAX：092-642-5203
 E-mail：kirameki@jimu.kyushu-u.ac.jp



きらめき通信 vol.74

2023年5月（隔月発行）

医学部ジェンダー学講義・性差医学入門講義 を行いました

●ジェンダー学講義
 5月8日（月）2・3時限目
 講師 きらめきプロジェクト
 プログラム責任者 加藤 聖子 先生
 顧問 樽木 晶子 先生



加藤 聖子 先生

樽木 晶子 先生



●性差医学入門講義
 5月9日（火）3・4時限目
 講師
 きらめきプロジェクト
 副プログラム責任者 宮田 潤子 先生
 九州大学病院乳腺外科
 診療科長 久保 真 先生



宮田 潤子 先生



久保 真 先生

医学部2年生を対象としたジェンダー学講義、性差医学入門講義を約4年ぶりに対面方式で行いました。

講義では、講師の先生方がそれぞれのご専門の観点から実体験なども交えて、お話されました。

令和5年度 医学部学生交流会を開催しました

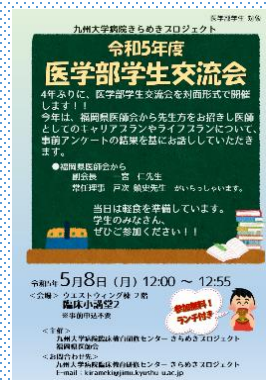
【日時】令和5年5月8日（月）12:00～12:55

【場所】九州大学病院キャンパス 臨床小講堂2

約4年ぶりに対面形式での医学部学生交流会を開催しました。

今年は、福岡県医師会から副会長 一宮 仁先生と
常任理事 戸次 鎮史先生にお越しいただきました。
会場いっぱいに参加した学生に向けて、先輩医師の
お立場からお話をさせていただきました。

この日は開催時間に合わせて、美味しいランチを
いただきながらの会となりました。



参加者からは、
先生の講演、刺激を受けました！
私達の世代以降では男女の役割分担意識が改善されているといいと思います。
医師がより良いキャリアプランを送るために必要な取り組みだと思えます。
今後も同じような交流会の開催を希望します。
などの感想が寄せられました。
学生たちには、自分たちの将来を考えるよい機会となったようです。

今回は、121名の学生の皆さんのご参加がありました。
ご参加いただき、ありがとうございました！！



福岡県医師会
常任理事
戸次 鎮史先生



福岡県医師会
副会長
一宮 仁先生



臨床教育研修センター長
新納 宏昭先生

